

2026 年度 第 32 回 国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技試験(論述) 問題用紙

実施日 ◆2026 年 7 月 5 日(日)

試験時間 ◆14:30~15:20(50 分)

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計(腕時計型ウェアラブル端末の使用は不可、音を発しないもの)、筆記具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)以外のもの(定規、メモ用紙、筆記用具入れ等)は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験及び面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 2026年8月20日(予定)に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会の Web サイトに受験番号を掲載してお知らせします。
(<https://www.jcda-careerex.org/result/>)

厚生労働大臣登録試験機関
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

設問

下記の【事例の前半（共通部分）】と【後半 A】、【後半 B】を読んで、以下の問いに答えよ。
（【後半 A】、【後半 B】は、同じ相談者（CL）、同じ主訴の下で行われたケースである）（50 点）

相談者（CL と略）： D さん、61 歳 男性、四年制大学卒業、
機能性材料メーカー 技術本部先端素材開発センター 再雇用
妻（58 歳）と二人暮らし
キャリアコンサルタント（CC† と略）： 相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

【事例の前半（共通部分）】

CL1：1 年前に定年後の再雇用で、今所属している素材開発チームのサポートメンバーとして入ったのですが、これからの働き方についてモヤモヤしています。
CC†1：これからの働き方についてモヤモヤしているのですね。何かありましたか。
CL2：3 年前に今の素材開発チームが立ち上がりました。その素材は、軽量で保温性が高く、実用化すれば様々な分野で活用できる見通しでした。当時私は 58 歳で、定年後もできれば表舞台に立っていたいと思い、開発センター長に直談判して、ようやく 1 年前の定年再雇用のタイミングで開発チームに入れました。
CC†2：念願が叶ったということですね。
CL3：はい。ですが、私が入ってすぐ、素材強度の問題で壁にぶつかり、撤退が決まったのです。それからずっと、撤退に向けて開発データのまとめや開発経緯などの資料整理をやっています。意欲が全然湧かず、ため息ばかりついて仕事をしていました。先日、同じ仕事をしている入社 3 年目の若手に「後ろ向きな仕事は面白くないよね」と声をかけると、「私はそうは思いません。これは次の開発へつながる大切な仕事ですから」と言われてしまいました。
CC†3：そうでしたか。そう言われて、どんな気持ちになりましたか。
CL4：こういう仕事に意欲がわからない自分が、なんだか情けなく思えてきたんです。

【後半 A】

CC†4：データのまとめや資料整理などを再雇用の人が引き受けるなんていうことは、よくあることですね。むしろ開発の現場に戻れてよかったのではないですか。
CL5：それはそうなんですけど…この先もモヤモヤしたまま続けるしかないのかなあ。
CC†5：お気持ちはわかりますが、今のお立場では仕方ないことだと思いますよ。それに若い人も今の仕事は次につながる大事な仕事とおっしゃっていたんですよ。
CL6：それも頭ではわかってはいるんです。私も長年開発畑にいて、いろいろ経験してきたので…私だけ、今の仕事を「後ろ向きな仕事」と意味づけていた。情けないです。
CC†6：そこまでご自身を責めなくても。私は、経験豊富な D さんなら、今の仕事で充分力を発揮できていると思いますよ。そのうち楽しくなってきますよ。
CL7：このまま意欲が湧いてこない、やる気ない再雇用の人に見えてしまいますよね。
CC†7：では、もっとレベルの高い仕事をしたいと、上司に相談してはどうですか。
CL8：そんなこと、恥ずかしくて相談できません。そういうことではなくて、自分が情けないと、わかっているのに、意欲が湧かないことにモヤモヤしてるんです。

（後略）

【後半 B】

CC+4: こういう仕事に意欲がわからない自分が情けないとはどういうことですか。
CL5: うーん・・・若い人にそう言われて、はっとしたんです。自分の方がずっと長く開発に関わってきたのに、今の仕事を大事な仕事だと思えていない。そこが情けないというか・・・。
CC+5: 今の仕事を大事な仕事だと思えていないご自身に引っかかっているのですね。
CL6: そうですねえ。私は入社して 20 年間は開発部門で、いくつか付加価値のある樹脂の開発を手掛けて、世の中に出してきました。その後、技術調査に異動しましたが、開発の第一線に残って結果を出している同僚と自分を比べて、どこかで焦っていたかもしれません。
CC+6: 第一線で結果を出している同僚と比べて、焦っていたのですね。
CL7: はい。定年が近づく中で、もう自分は現場から必要とされなくなる。だから、この開発チームに入れた時は、まだ自分も役に立てる、そう思っていたのかもしれません。
CC+7: 今、そのことを話してみても、何か感じられますか。
CL8: いつの間にか、周りから認められる仕事や、成果が見える仕事にこだわっていたのかもしれませんが、でも、開発って本来、失敗の積み重ねの先に成果が出るものですよね。昔の自分はそう思ってコツコツやっていました。失敗しても諦めず、やり続けることが、いつか世の中の人の役に立つものを生み出すことにつながるはずだ、という信念のようなものがありました。そうやって必死でやってきた自分もいるのですね。

(後略)

【問い 1】

事例の【後半 A】と【後半 B】ではキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。
【後半 A】と【後半 B】の対応の違いについて、下記の 5 つの語句（**指定語句**）すべてを使用して、
解答欄に具体的に記述せよ（同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語句に必ずアンダーラインを引くこと）。（15 点）

指定語句

気持ち 説得 好意的関心 内省 価値観

【問い 2】

あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動に基づいて、具体的に記述せよ。（20 点：10 点×2）

①問題

②その根拠

【問い 3】

【問い 2】で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、相談者の成長に向けてどのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。（15 点）

解答

[問い 1]

[問い 2]

①問題

②その根拠

[問い 3]

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。